

令和4年度 林業普及週間現地情報 (10/3～10/7)

森林管理課

吉田サバニ造船 丸木舟製作見学

10月4日(火)

令和4年10月4日(火)、沖縄県八重山農林水産振興センター職員は吉田サバニ造船の丸木舟製作に関する見学を行った。

使用されている材は、令和3年度、平得県営林から佐藤林業に払い下げしたリュウキュウマツで、胸高直径は111cmあり、大径材に分類される。

吉田サバニ造船 代表 吉田氏は、サバニを造る傍らサバニツアーも行っている。

現在のサバニは、木材を継ぎ合わす本ハギという技法で造られており、丸太以上の幅の造船も可能である。しかし、吉田氏は、現在のサバニの形を伝統的な丸木舟で再現したいとの思いで、丸木舟製作に試行錯誤しながら取り組んでおり、島文化の継承と島の資源を活用することの大切さ等を伝えるため、「丸木舟の造船を通じて石垣島の文化を過去から未来へつなげたい～子供が力強く生きる未来を目指して～」というプロジェクトを立ち上げ、丸木舟を制作している。

また、プロジェクトには多くの賛同者がおり、今回、その一人である佐藤林業代表 佐藤雄一氏によるチェーンソーのメンテナンスに関する講義が行われ、参加者も熱心に受講しており、佐藤氏が目立てしたチェーンソーの切れ味に驚いていた。

現在、製作している丸木舟は、途中経過であるため、今後も製作過程を見学させていただき、リュウキュウマツの需要の一つとして、普及に取り組む。



丸木舟（製作途中）



チェーンソーのメンテナンス

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城(智))